

1. 令和2年度 科内目標

《業務目標》

1. 千葉市地域包括ケアシステムへの協力を継続。
国の推進している地域包括ケアシステムを市職の療法士として千葉市の取り組みの協力を継続する。
病院主催の公開講座や地域住民主催の地域活動に協力し、市民の健康維持増進に貢献する。
2. 院内の取り組みへの協力
①認知症院内デイケアの充実。 ②褥瘡対策に伴う離床の推進：ポジショニング・トランスファー用具による褥瘡予防の推進 ③切迫早産、産後のための産前リハビリ教室の開催 ④心疾患リハビリテーション室の設置、施設基準の取得
3. 休日リハビリ対応の継続
月曜日から土曜日まで充実したリハビリテーションを提供する。土曜日は3名体制、祝日は2名体制で対応する。リハビリの休みが3日連続しない様に調整する。
4. 他部署との連携強化の継続
病棟毎に担当療法士を配置し、医師・看護師・その他スタッフとの窓口となり、回診の同行・カンファレンス開催・退院調整時の情報提供など更に密接な関係を作る。
カンファレンス内容が看護計画に生かせるような取り組みを行う。

《数値目標》

1. 療法士1人あたり、1日算定単位数の年間平均を18単位とする。
2. 業務の効率化を図り、時間外勤務時間数の是正を図る。一ヶ月1人10時間以下を目指す。

2. 診療体制（施設基準・特徴・臨床活動）・スタッフ

当科は、外来スペースにリハビリ室1(81.04㎡)と言語聴覚室(10.62㎡)、4階病棟に心疾患リハビリテーション室(32.63㎡)、5階病棟にリハビリ室2(16.43㎡)、6階病棟にリハビリ室3(16.43㎡)を設けている。

施設基準

脳血管疾患等リハビリテーションⅡ
廃用症候群リハビリテーションⅡ
運動器疾患リハビリテーションⅠ
呼吸器疾患リハビリテーションⅠ
がん患者リハビリテーション
心大血管疾患リハビリテーションⅠ

スタッフ 11名

医師 1名
理学療法士 6名
作業療法士 2名
言語聴覚士 1名
事務補助員 1名

リハビリテーション部門として、月曜から土曜日まで連続したリハビリテーションを提供している。
新たに心大血管疾患リハビリテーションⅠの施設基準も取得した。

3. 年間統計

表1, 2020年度診療科別
リハビリテーション提供件数

診療科	延べ件数
内科(消化器等)	5102
小児・新生児科	3217
外科	3080
循環器内科	1152
整形外科	407
産科・婦人科	280
心臓血管外科	175
その他	240
総計	13653

(件)

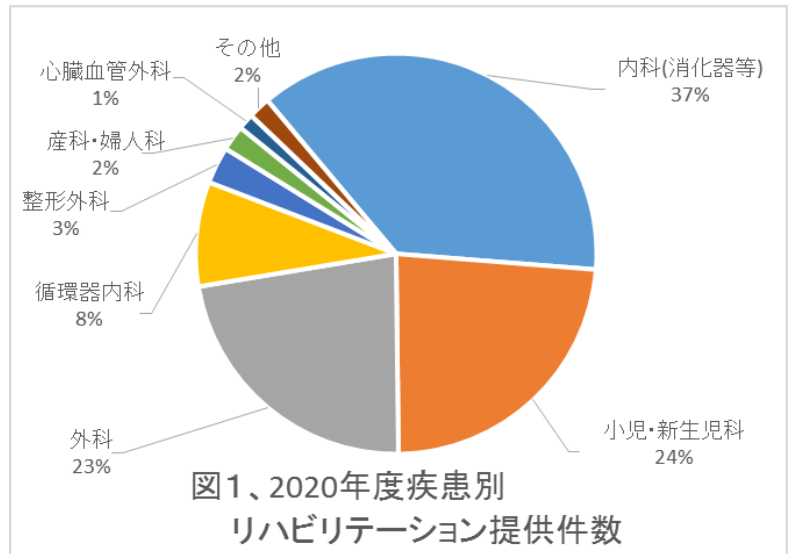
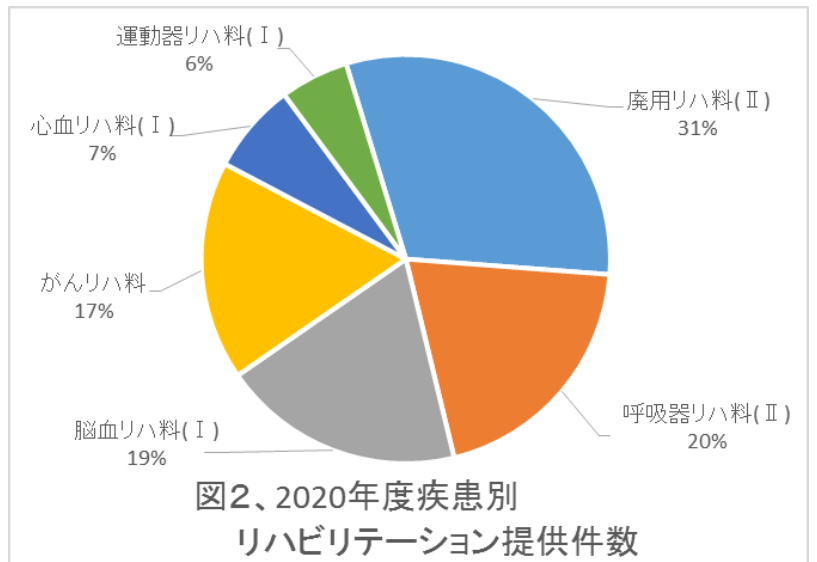


表2, 2020年度疾患別
リハビリテーション提供件数

疾患別リハ	延べ件数
廃用リハ料(Ⅱ)	4222
呼吸器リハ料(Ⅱ)	2730
脳血リハ料(Ⅰ)	2617
がんリハ料	2368
心血リハ料(Ⅰ)	978
運動器リハ料(Ⅰ)	738

(件)



4. 1年間の総括

2020年度は、2019年度から協力を続けている千葉市の地域包括ケアシステム、自立促進ケア会議への療法士の助言者派遣協力の継続を行った。6区のうち5区に療法士を7名派遣し、15ケースの助言を行っている。しかし12月より、新型コロナウイルス感染拡大が懸念され、感染予防の観点から会議のあり方や方法が検討されることになり、12月から休止となった。

また、千葉市リハ・パートナー登録施設として、近隣の地域で行われている介護予防に資する通いの場への運動指導や助言の療法士派遣協力についてもCOVID-19感染予防の観点から派遣を自粛することになった。

海浜病院主催で毎年行われていた市民公開講座についても今年度は自粛となり、実施を見送っている。

院内の取り組みとしては院内Dayで病棟を跨がない感染予防を考慮した形で毎週2回行われた。

新たな取り組みとして、本年度は心大血管疾患リハビリテーションIの施設基準を取得した。4階の病棟リハ室を専用の心大血管疾患リハビリテーション室として配置し、5階と6階のDay roomの一部を病棟リハビリ室として拡張を行った。

また、COVID-19陽性患者へのリハビリ介入を12月から開始した。理学療法士が担当しCOVID-19治療後の円滑な自宅復帰の一端を担っている。

数値実績では、COVID-19感染拡大予防のため、外来や入院患者の減少もあり、昨年度の患者件数14,138件に対し、今年度は13,653件と減少した。

療法士1人1日の単位数についても、今年度平均は16.0単位で、昨年17.8単位を下回り、目標の18単位から遠ざかっている。

時間外業務時間数の是正は、前年度の総計1,343時間(1人1ヶ月15.3時間)から、今年度は1,076.5時間(1人1ヶ月11.2時間)と減少したものの、目標の10時間以下には届かなかった。

5. 今後の目標

千葉市の病院・市職の役割として、千葉市地域包括ケアシステムの推進への協力を継続する。

院内の今後の発展に向けた取り組みを進める。

- ・千葉市自立促進ケア会議への協力(地域を限定：美浜区への参加)
- ・千葉市地域リハビリテーション活動支援事業への協力(美浜区)
- ・院内・院外公開講座の開催、協力の継続
- ・認知症院内デイケアの継続
- ・切迫早産、産後のためのリハビリ教室の開催実現
- ・COVID-19陽性患者へのリハビリ介入の継続
- ・新病院整備基本計画への参加・協力